

科学と非科学判定基準

皆々様

最強寒波を迎えています。

沖縄県西原町の本日の最高気温 11.5℃、最低気温 9.5℃。

沖縄としては最高に寒い一日でした。

民皆様 お元気にお過ごしでしょうか？

BCC で失礼致します。重複ご容赦ください。

1 主権を意識しよう

『主権者』という言葉を変えて受け取りなおしたことはございませんか？

基本的人権を国家という建前の中に織り込んだ時の言葉のように受け止めました。

私は、次のように思っています。

国の主人公ですので、人の言いなりになるのではなく

①自分の目で事実をありのままに見ることができる。

②一つのことについて社会的な側面も自然科学的な側面も自分で判断することができる。

③判断に基づいて自分の行動を決めることができる

というような内容が主権者が擁すべき、求められる機能ではないかと思います。考えの上で独立できることです。

(憲法) 憲法では、前文に「ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」とある。

基本的人権は第 11 条に「〔基本的人権〕

第十一条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」とある。

(屈辱の歴史) サンフランシスコ体制及び同時締結された「日米安保条約（当時の首相が単独で署名した）」において、日本は主権を放棄し、アメリカの傀儡になることを宣言した。

(不断の努力) 第 12 条には、

第十二条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ。

この条文とは逆に、政府は不断の努力で、主権者性を身に着けさせない国民養

成を行ったのだ。

(従属者教育) 1958年以來「日の丸・君が代」を通じて国に対する意識を持つことを教育課程に取り入れたが、悲しいかな、主権を放棄した日本政府が日本国民に求めることは「主権を放棄した」国の「主権を放棄する」国民の育成であった（尊厳ある主権を持つ者が存在することは主権を放棄した国の政策に邪魔な存在であった）。

悲しいかな、これが、「道徳」という名をもって子どもたちに迫った。

主権ある市民としての素養ではなく、「上の者の言うことを聞きなさい」の従属者を育成する教育を国家が目指した。

知識獲得で最も大切なことは学習者が納得することであるが、多人数教育あるいは受験対策をてことして「納得せずとも覚えなさい」と、考えるすべを奪われた国民を養成した。

(戦争ができる国の現状) — 「武力で平和を」を前提とした従属国家の危険である。

先島諸島では、敵基地攻撃ミサイルが配備され、有事の際には「全島民避難」という国民保護が適用されようとしている。国民の最大の保護は武力を持たないことである。

この国民保護とは戦前の「戦陣訓」の別名である。

敵基地攻撃ミサイル配備は、先島どころではない。全日本列島全体に危険極まる武力が配置されている。

自衛隊基地に米軍あり。恐るべきは「日米地位協定」と「米日指揮系統統一化」。ウクライナではまだウクライナ政府が戦争し、米国とNATOの代理戦争をしているといわれる。

日本は完全にそれと異なり、国家有事の際において米軍指揮下で自衛隊が動くというまさに国家主権が丸見えで破壊される事態が生じる体制を構築している。日本政府の姿だ。なんという国か日本は！

(沖縄戦の教訓—ヌチどう宝)

国家が住民を守るといことはどの面で見ても嘘である。

武力で平和が守られるというのはもっと嘘である。

憲法およびヌチどう宝は、軍隊と戦争による平和と人権の防衛ではなく、軍隊と戦争からの（もっとシャープに言えば、軍隊と戦争に対する）平和と人権の防衛を説く思想である。

(憲法9条) 憲法9条は憲法13条（全ての国民は個人として尊重される。生命、自由、および幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする）と一体となって、ヌチドゥ宝の内容を語るものである。

(義は山嶽よりも重く、死は鴻毛よりも軽し) 明治憲法では「義は山嶽よりも重く、死は鴻毛(こうもう)よりも軽しと覚悟せよ(軍人勅諭)」(民間にも適用された)であり、平和的生存権は全く存在しない。
平和的生存権は、民主憲法では基本的人権の根幹である。

(巨費を軍事に費やしている時ではない) 橋やトンネルや、上下水道の老朽化メンテナンスに金を回せ! 原発事故、能登地震、線状降水帯降雨被災者の人権を守れ! 同じ労働に同じ対価を払わずに「パートタイムを低賃金でこき使う」ことをやめよ。お年寄りの人権を保障せよ。などなど・・・
巨額の軍事費はすべて主権者をみじめに零落させる。

(東電原発事故で政府は何をしたか) 当時の民主党政権は基本的人権を守るシステムとしての我が国の法律を守らなかった。1mSv/年を守らずに、住民犠牲で原発を温存するICRPの国家統治のための基準を取り入れた。「食べて応援」で棄民にさらに棄民強制を測った。

もちろん法治国家の放棄だ。原子力災害特措法を根本から無視した。

おまけに原子力基本法を改め、原発を「国家の安全保障のため」とした。

凄まじい棄民。基本的人権を守らず、したがって主権者を犠牲にし、

米中心の国際原子力ロビーに従った。

見事な主権放棄と傀儡ぶりであった。

悲しいことに、国家による主権者棄民を、日本の政治姿勢の根本問題—主権の放棄と主権者の棄民：基本的人権の放棄—としてとらえる政党はなかった。

(主権者は主権者) どっこい主権者は生きている。

人権を主張するたくさんの人々が現れた。

自主避難が生じ、自主保養が生じ、訴訟が生じ、主権者の意地が開花している。

人権の切り捨て、敗訴等の苦渋に満ちてはいるが決してあきらめない。

ちゃんと基本的人権を守り、気高く生きている人々がいる。まさに日本の宝。

(気骨たちの最後の砦)

今私たちはICRPの反科学性を証明し、反民主主義を証明し、「科学と人権に立脚する被ばく評価体系の樹立」を目指す。

被曝被害をありのままに見て、人権を守れる新評価基準を作ろうとしている。

主権者でいるための科学を行う。主権者でいるための人権を主張する。

決してあきらめない。頑張ろう。主権を主張することこそが日本を救う。

放射能被ばくで主権を取り戻し、日本国の主権を取り戻し、誇り高い国を作り誇り高い主権者を示す。

2 第 67 回 つなごう命の会定例学習会

今回は試みとして土曜日の午前中にやります。

日時

2025 年 3 月 15 日(土) 午前 10 時半からおよそ 2 時間

(1) 会場

那覇市民活動支援センター3階 第8会議室

(2) ズーム参加

ZOOM URL パスワード等

[https://us04web.zoom.us/j/7718813361?pwd=](https://us04web.zoom.us/j/7718813361?pwd=UllnS21xQWRYOXRLNlZKNFRxN08xQT09)

[UllnS21xQWRYOXRLNlZKNFRxN08xQT09](https://us04web.zoom.us/j/7718813361?pwd=UllnS21xQWRYOXRLNlZKNFRxN08xQT09)

ミーティング ID: 771 881 3361

パスコード: D8R2Lt

参加予定の方は事前に<yagasaki888@[gmail.com](mailto:yagasaki888@gmail.com)>までご連絡ください。

(@を@にご変更ください)

参加費無料です

今回のテーマは、

「人権を守る科学とは？」

科学と非科学（反科学・似非科学）の見分け方

(2025 年 2 月 9 日) 矢ヶ崎克馬

那覇市民活動支援センター

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2丁目3-1



駐車場 2 か所 プラザ地下駐車場、那覇銘苅パーキング（立体駐車場）
 2 階事務室でパンチをもらうと 2 時間で 100 円、3 時間で 200 円

アクセス

- ゆいレール
- ・ 古島駅 徒歩 10
- ・ おもろまち駅 徒歩 16 分
- 路線バス
- 〈新都心区内〉
- ・ なは市民協働プラザ前バス停 徒歩すぐ
- ・ 安謝 1 丁目バス停 / 国際高校前バス停 徒歩 10 分
- 〈環状 2 号線側〉
- ・ 古島バス停 徒歩 7 分
- 〈国道 330 号線側〉
- ・ 興南高校前バス停 / 真嘉比バス停 徒歩 10 分